

3月11日は献花台の設置と夜間展示を行います

東日本大震災から丸6年となるこの日、交流館には献花台が設置されます。
また、追悼の気持ちを込めたLEDキャンドルを館内に配置します。
19時まで延長して開館しておりますので、どうぞゆっくりお過ごしください。

献花台設置:10-17時 | 夜間展示:17-19時

【施設情報】

せんだい3.11メモリアル交流館

Sendai 3/11 Memorial Community Center

休館日:毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

住所:〒984-0032 仙台市若林区荒井字沓形85-4 地下鉄東西線荒井駅内

電話:022-390-9022

メール:office@sendai311-memorial.jp

ウェブサイト:http://sendai311-memorial.jp/

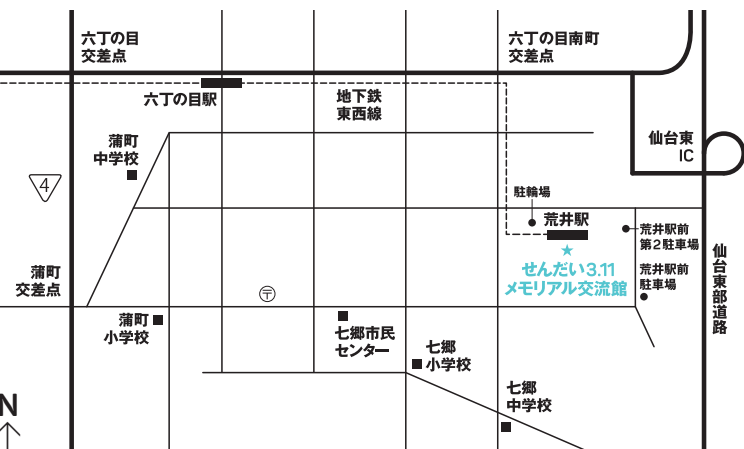
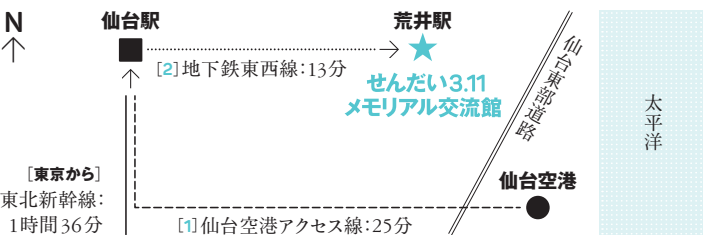
フェイスブック:https://www.facebook.com/sendai311memorial/

[運営:公益財団法人仙台市市民文化事業団(仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室より受託)]

【アクセス】

仙台空港から:仙台空港アクセス線仙台行きで25分^[1] 仙台駅で地下鉄東西線に乗り換え
仙台駅から:地下鉄東西線荒井行きで13分^[2]

- 車でお越しの方は、荒井駅前・荒井駅前第2駐車場(有料)をご利用ください。
バイク・自転車でお越しの方は、荒井駅駐輪場(有料)をご利用ください。



*この紙はリサイクルできます。



企画趣旨

2016年2月にせんだい3.11メモリアル交流館が開館してから1年が過ぎました。私たちスタッフが交流館に身を置きながら感じるのは、東日本大震災後の「状況は、さまざまである」という、当たり前であり、しかしながら、なかなか気づきにくいことです。いまだに展示室の中に入って大震災当時の写真をご覧になれない方もいらっしゃる。一方で、壮絶な体験をしたことを写真や地図を見ながらお話して下さる方もいらっしゃいます。交流館の外へ視点を移しても、新しく住宅や商業施設ができていところ、大震災前と変わらない町並みが残っているところ、津波で家屋が流出して更地になっているところがあり、それぞれに状況は違います。

この1年の間に仙台東部沿岸地域で出会ってきたのは、東日本大震災で大きな被害を受けた地域としての側面だけでは決してありません。この地域がもともと持っていたたくさんの魅力にも出会った1年でした。

東日本大震災で大きく被災した事実も、まだ心が癒えない人が暮らしていることも、四季の移ろいをしっかり感じられることも、月命日以外にも被災した場所で人々が寄り合っていることも、すべてがこの仙台東部沿岸地域の現状です。この地域を見る時の視点もまた多様であることに気づきます。

今回の展示は、私たちが交流館の運営をとおして出会った「この地域での1年」の記録です。大震災を経験した町に居ながら、見て、聞いて、考えた「状況は、さまざまである」ということ。私たちの歩みをご覧いただきながら、皆さんの視点で改めて仙台東部沿岸地域を見つめてみてください。



せんだい3.11メモリアル交流館
Sendai 3.11 Memorial Community Center

関連展示

仙台市立七郷中学校

復興展2

[2/22(水)→3/15(水)]

会場:1階廊下ギャラリー



七郷市民センター

定点観察—— 今と未来をつなぐ

[3/7(火)→4/16(日)]

会場:2階展示室



仙台市立七郷小学校

[3/24(金)→4/16(日)]

4年 大好きな七郷のために

会場:1階廊下ギャラリー

5年 復興絵馬

会場:1階交流スペース

制作協力:東北工業大学工学部近藤祐一郎研究室

6年 未来のまち

会場:2階展示室

制作協力:山形大学教育学部佐藤慎也研究室



3/20(祝・月) 14-15時

街の詩を奏でる

仙台在住の詩人・武田こうじさんが、東日本大震災の津波被害が甚大であった沿岸部地域を訪ね歩いて制作したフリーペーパー『RE:プロジェクト通信』に寄せた詩を朗読します。それぞれの集落で出会った言葉を、音楽とともにお届けします。

出演:武田こうじさん(詩人)、澤田和歌子さん(ピアニスト)

入場無料、申込不要



4/1(土) 14-15時30分

東日本大震災と本——これまでとこれから

仙台の出版社として被災しながらも東日本大震災以降も書籍を発行し、著書『震災編集者——東北の小さな出版社「荒蝦夷」の5年間——』(河出書房新社)も刊行した編集者の土方正志さんをお招きして、大震災以降発行されてきたさまざまな分野の震災関連本について振り返りながら、大震災から6年経つ今だからこそ「本」という形で発信できること、本が果たせる役割を考えたいと思います。

ゲスト:土方正志さん(株式会社荒蝦夷 代表)

進行:庄子隆弘さん(海辺の図書館)

入場無料、直接会場へ[企画制作:海辺の図書館]



1階のご案内

1階の交流スペースでは、
ゆっくり語ったり、本を眺めたり、
思い思いにお時間を過ごしていただけます。
どうぞお気軽にお立ち寄りください。

交流館スタッフがおすすめする震災文庫

仙台市民図書館が東日本大震災に関わるさまざまな資料を収集する取り組み「3.11震災文庫」。当館1階にも本棚が置かれ、たくさんの方にご利用いただいています。展示期間中は、当館スタッフがおすすめする本を推薦文付きでご紹介します。

交流館でお茶しよう! [毎週水曜日 14-16時 (3/8・15・22・29、4/5・12)]

展示期間中の毎週水曜日は詩人の武田こうじさんがマスターとなってお茶会を開きます。集まった人たちでおしゃべりしたり、新聞を読んだり、バスを待つ窓の外を眺めたり。どうぞのんびりお過ごしください。

4/2(日) 14-15時

朗読のつどい『あの日、あの時、私の記憶』

やっとあの日のことを語れるようになった沿岸部の婦人防火クラブの皆さんが綴った『東日本大震災の体験文集Ⅱ』。市民から寄せられた大震災の体験文を元に、その時の思いや胸の内を朗読します。

出演:婦防みやぎの朗読会、朗読リラの会

入場無料、申込不要

[企画制作:仙台市宮城野区婦人防火クラブ連絡協議会]



4/9(日) 14-16時

わら仕事 いま・むかし

仙台東部沿岸地域には、かつては多彩なわら仕事が溢れていました。今でもその技術をもっておられる方がご健在です。一方、最近は「わらアート」が登場しています。新旧のわら仕事についてお話を聞きながら、この地域の資源について考えます。縄なえ体験もあります。

出演:宮島慎吾さん(武蔵野美術大学教授)

広瀬剛さん(一般社団法人ReRoots 代表)

畑井洋樹さん(仙台市歴史民俗資料館学芸員)

参加費:300円

定員:30名(要申込/電話またはメールでご連絡ください)



期間中はさまざまな関連イベントを開催します。ぜひ足をお運びください。